

1 基本方針

平成29年度の本市の財政につきましては、歳入の根幹である市税が個人市民税や固定資産税などの伸びにより、前年度と比べ増収となる見込みですが、依然として財源不足を基金繰入金や地方交付税、臨時財政対策債などに頼らざるを得ない状況です。

一方、歳出においては、高齢化の急速な進行などによる扶助費のほか、介護保険をはじめ各特別会計への繰出金など、社会保障経費に充てる一般財源負担が増加している状況です。また、土地区画整理事業、地区計画住環境整備事業などの都市基盤整備も同時に進めていかなければなりません。

本市では、高齢化の急速な進行と生産年齢人口及び年少人口の減少、それに伴う地域活力の低下などへの対応が最重要課題です。

このため、「地域資源を活用した市のブランド化」による鶴ヶ島に住む人、訪れる人が元気になるまちづくりや、「結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援による子育てしやすい環境づくり」「子どもたちの確かな学力と自立する力を育む教育環境の実現」など、将来の鶴ヶ島市の発展に不可欠な子育て世代が元気に生活できるまちづくりの実現に向けた取組に、重点を置いて予算化しました。

市の将来像「鶴ヶ島は 元気にする～明日につながる活力のまち 支え合う安心のまち～」の実現に向け、「健やかで安心できるまち」「活力に満ちたまち」「快適に暮らせるまち」「人を育むまち」「将来を見すえた市政運営」の推進を図り、各分野の事業を実施していきます。

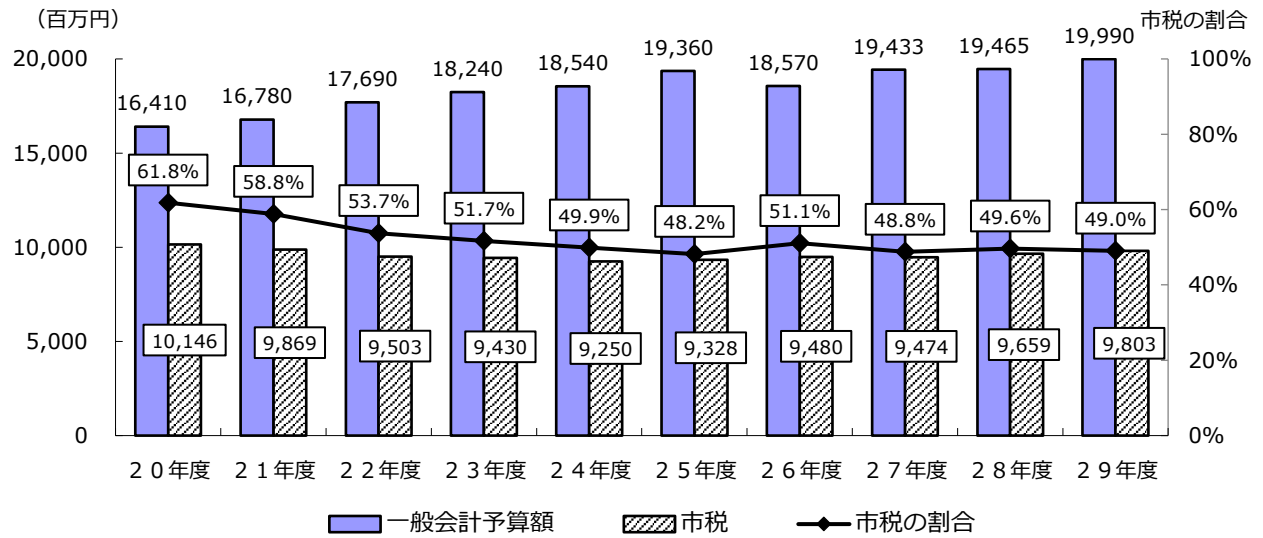
2 予算規模

(単位 千円)

会 計 名		平成29年度 予算額	平成28年度 予算額	比較増減	
				増 減 額	増減率
一 般 会 計		19,990,000	19,465,000	525,000	2.7 %
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	8,910,273	8,733,243	177,030	2.0 %
	後 期 高 齢 者 医 療	629,979	590,866	39,113	6.6 %
	介 護 保 険	4,293,874	3,755,300	538,574	14.3 %
	一本松土地区画整理事業	482,048	383,847	98,201	25.6 %
	若葉駅西口土地区画整理事業	369,045	346,137	22,908	6.6 %
	合 計	14,685,219	13,809,393	875,826	6.3 %
全 会 計 合 計		34,675,219	33,274,393	1,400,826	4.2 %
全 会 計 純 計 ※		32,941,337	31,717,790	1,223,547	3.9 %

※全会計を合わせた市全体の予算規模については、実質的な予算規模を表すため、全会計で相互にやりとりする重複部分を除いた純計で表しています。

一般会計予算額及び市税の推移



【一般会計の主な増減要因】

増要因

- 一本松地区地区計画住環境整備事業
- 障害者自立支援給付等事業
- 小学校トイレ改修事業（工事）
- 小規模保育事業

減要因

- 都市計画道路整備事業
- 坂戸、鶴ヶ島下水道組合負担金
- 生活保護費
- 橋りょう・道路維持管理事業

3 一部事務組合負担金

(単位 千円)

一部事務組合名	平成29年度 予算額	平成28年度 予算額	比較増減	
			増減額	増減率
広域静苑組合	24,435	12,610	11,825	93.8 %
坂戸、鶴ヶ島水道企業団	1,212	1,110	102	9.2 %
埼玉西部環境保全組合	711,302	709,213	2,089	0.3 %
坂戸地区衛生組合	47,424	47,700	△ 276	△ 0.6 %
坂戸、鶴ヶ島下水道組合 ※大谷川浸水対策事業を含む	433,110	563,091	△ 129,981	△ 23.1 %
坂戸・鶴ヶ島消防組合	966,023	965,220	803	0.1 %
合 計	2,183,506	2,298,944	△ 115,438	△ 5.0 %